

1 基本情報

事業名称	防災に関する情報発信事業				
事業目的	中区地域計画の「地域防災力の向上」などをめざし、次のことに取り組む。 災害時にこどものいのちを守るため、子育て世代が備える物品、知っておいてほしい知識、家族や地域で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。				
事業概要	○防災ブック、防災情報をまとめたパネルを活用し、広く防災について啓発する。 ○実際の防災グッズを揃え、乳幼児健康診査や妊婦教室等で展示を行う。 ○子育てサークル・サロン、地域のイベント、保健センター事業等において、防災ブックの配付・配架、防災パネル・グッズの展示を行う。				
実施主体	中区役所 中保健センター	実施場所	子育てサークル・サロン、地域のイベント、保健センター事業など	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	4か月児健診やイベント等で子育て世代に対して防災について啓発した人数		R4	R5	R6	R7
		目標	1600人	1600人	1500人	1500人
		実績	1563人	1492人	1786人	1303人
成果指標	堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いますか。 (市民意識調査において「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した中区民の割合)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	66.7%
		実績	64.7%	62.8%	63.1%	60.5%

3 事業評価

決算額		89,988		円		
①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
妊婦面接時に防災クリアファイルを、4か月児健診時に防災ブックを配布した。乳幼児健診会場で防災パネル・グッズを展示し健診待ち時間に防災リュックの体験もしてもらった。受診率の高い乳幼児健診の場を利用して、体験も合わせた啓発を行うことで、子育て世代の防災意識の向上につながっており、事業を実施する妥当性が高い。		妊娠届出面接や乳幼児健診など全妊婦・全産婦に対面できる機会を活用し、防災ブックやクリアファイルを配付した。また、ファミリークラスの事業実施時など既存の事業を活用した啓発を実施できており、費用対効果が高い。		健診等子育て世帯が集まる場を活用して、防災グッズ展示やパネル展示等に力を入れた。子育てサロンでも防災ブックを渡し広く啓発することができた。 また、子育て支援関係機関より防災ブックについての問い合わせがあったことから、防災意識の向上に寄与したと考えられる。ファミリークラスでは産前産後の準備の一つとして防災を伝えており、講座終了後にアンケートにより参加者の多くの行動変容(防災グッズの準備)を確認できており、災害時においてこどもの命を守るために効果の高い事業であった。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
区内の子育てサークルや、子育て関係機関等と連携することで、防災に取り組む必要性が認識されている。また、子育て関係機関での防災意識の向上にもつながっており、連携の度合いが高い。		子育て世代に対して正確な情報を伝え、防災意識を高めることを目的としており、事業を通して区民が防災準備を行い、主体的な自助強化の取組になっていることから、計画における「地域防災力の向上」の取組に寄与している。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	防災に関する情報発信事業として、4か月児健診等を活用し周知を実施。防災グッズの準備や避難経路の確認に取り組む等行動変容がみられる反面、準備のレベルにばらつきもあることからより一層具体的に伝える工夫が必要。	今後の方向性	継続
対応方針	子育て世帯や子育て関係機関等を対象に広く防災準備を具体的に伝える啓発を行っていく。		